

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年6月16日

開催日	平成30年6月14日	時間	10:00~12:00
場所	金沢区民活動センター会議室	出席人数	13名
講師	真田雅行氏	作成者	兒玉 仙三
テーマ	第一学習 野嶋浦 鈴木家文書⑦		
概要	<p style="text-align: center;">**類似文書が有るので代表例に絞り表記した**</p> <p>○入置申一札之事（書式見本／本文の他、提出年月、提出者、提出先） （本文のみ記載）当月十一日夜、私所持の伍太刀船が破船し、それを当浦漁師が沖合で見届け、引船して呉れた。極印三ヶ所・船共に無事に受取。また、諸道具は別紙書附を差し出し、残らず儘に受け取った。然る上は、外より違乱申す者は無い。後日の為、加判一札入置く。</p> <p>○差上申證文之事（文政二卯閏四月二日） * 此度、浦賀・御奉行両所様と成り、隔年勤務なされるに付、先格の通り、地頭添状持参し、船共印鑑納替を御了承頂き有難い。 * 享保五子年十二月廿一日、評定所で渡された御法度書の趣は堅く守ります。 * 浦賀より根府川迄の間、御高札の通りきつと守ります。 若し、背く者が有れば、如何なる曲事でも仰せ付け下さい。</p> <p>○差上申す手形之事（文政四巳年八月、野島村名主 吉兵衛より西浦賀御番所へ） 「武蔵国室木村弥兵衛獵船 水主三人乗、 *積荷 塩二百俵」 この通り、当地より西浦賀七兵衛迄積登らせるので、浦賀御番所、相違無くお通し下さい。自今以後も同様に願います。</p> <p>○浦状之事（海難事故／文政五年年二月、野島浦の組頭他から石巻の船主他へ） 仙台石巻・清五郎船と江戸北新堀町金左衛門船（乗組員名は省略）が去る十日、俄の北風難風で、野島浦へ流れ着、上陸。早速、人足引船等を差遣し、茶船を吟味した。積荷・米百廿貳俵と茶船を当所で預り、早速江戸表へ飛脚を差遣わす。宿長・米主・茶船主が来たので、即、米（壱割は村方で貰い残り九割）・茶船・諸道具等を渡した。江戸廻しの船賃は別途江戸で貰う。</p> <p>○借用申金子證文之事（文政七申申年十二月／借手・野島浦百姓代 孫右衛門他組頭、名主が加判して、貸手・佐野村長嶋友右衛門へ入置もの） 「金貳拾兩也 但文字小判也 為此質物（内訳省略）四口合五反貳拾五歩」 この金子の儀は、当浦方不漁困窮につき御年貢併御運上金の上納に差詰り、貴殿より拝借。返金の儀は来る酉十一月元利とも返納します。万一返納が滞れば前書きの質物を売払い、相違なく返金致し御迷惑をお掛け致しません。</p>		
次回予定	平成30年 6月28日 10:00~12:00 於：金沢公会堂リハーサル室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(中)⑩		